

程度副詞“更”と“还”の 意味内容に関する一考察

劉 傑

Analysis of the semantic content of the adverbs *geng* and *hai*

Abstract: In Chinese, the adverbs *geng* and *hai* can be used as adverbs of degree. It used to be thought that these two words can be exchanged in the sentences that use *bi* in previous study. However, this paper believes in many situations, these two words can't be exchanged considering of the context. Therefore, according to the context, mainly from speaker's expressive purpose, this paper will analyze the difference between *geng* and *hai*.

Keywords: adverbs of degree, *geng*, *hai*, context, purpose of expression

1. 先行研究と問題提起

従来の研究では、“X比Y更P”と“X比Y还P”は、ほとんどの場合、互いに置き換えることができるとされてきた。例えば、刘月华ら(2001)は、“更”と“还”について次のように記述している。“更”は、“用于事物自身发展各个阶段的比较或两个事物之间的比较，表示比基准的程度或情况又进一层(同一物事の各発展段階における比較もしくは異なる物事との比較に使われ、比較基準より程度が増すことを表わす)”(PP224)、“比”構文に使われる“还”は“表示在程度上或数量上更进一层，意思与‘更’一样，比‘更’更加口语化(程度や数量が増すという意味を表わす。“更”と同じ意味であるが、“更”よりも口語的である)”(PP233)と指摘している。また、小野秀樹(1998)は、“X比Y还P”について“比”の後に来る比較対象(=Y)をスケールとして、主語の性質を語ろうとするのが本務である」とし、“X比Y更P”について、「副詞“更”を用いた比較文は…(中略)…比較対象(=Y)を設けて文中に導入し、それを越えているということを表明することによって主語の性状を表わそうとする表現形式である」と指摘する。その上で、“更”

と“还”を用いた文を「特性記述」文とし、“更”と“还”の互換性については、「一般に本稿で言う『特性記述』文¹の“更”と“还”は互換可能である²。」と述べているが、“更”と“还”の表現意図の相違点をはっきりさせていない。

陸俭明 (1980) をはじめとして、“X 比 Y 还 P” 構文に現れる“还”は、比喩・たとえを表わすことができ、Y を用いて X を引き立てると論じる研究がある。それに対して、前田真砂美 (2011) は、例えば、次の用例 (1) と (2) のように、“还”も“更”も比喩表現に用いることができると指摘している³。

用例 (1) 你比蝎子还毒比狐狸还滑。

(あなたはサソリより残忍でキツネより狡猾だ。) 前田 (2011: 132)

〈中国語文の出典は《活动变人形》であり、日本語訳は前田 (2011) による。〉

用例 (2) 人情比春风更温暖。(人の情は春の風より暖かい。) 前田 (2011: 128)

〈中国語文の出典は《现代汉语》であり、日本語訳は前田 (2011) による。〉

一方、胡斌彬・车录彬 (2010)、宗守云 (2011)、謝平 (2012) などは、“还”は意外性を帯びているが、“更”にはないと指摘している⁴。しかし、次の用例 (3) から分かるように、程度副詞“还”が用いられるからといって、必ずしも予想外のニュアンスが含まれているとは限らない。したがって、意外性は、“还”の核心的な意味合いではないと考えられる。

用例 (3)

原文：我就开始点火。站在火炉边，居然也和小主妇一样调着晚餐。油菜烧焦了，白米饭是半生就吃了，说它是粥，比粥还硬一点；说它是饭，比饭还粘一点。

(BCC 现代汉语语料库・《搬家》)

日本語訳：火をつけて釜戸の傍に立って、あたかも若い主婦のように晩御飯を作っていた。しかし、チンゲン菜が焦げてしまったし、米も炊けていなかった。しかもそれは、お粥と言うには、すこし濃いし、ご飯と言うには、若干薄い。

そこで、本稿では、“更”と“还”が互いに置き換えることができない用法を手掛かりに、「CCL 语料库（北京大学汉语语言研究中心のコーパス、以下「CCL」と略）」と「BCC 现代汉语语料库（北京語言大学中国語コーパス、以下「BCC」と略）」から用例を収集し、程度副詞“更”と“还”の使用方法の全体像に目を向けて説明することを試みる。

2. “更”と“还”の表現意図

2.1 “更”の場合

程度副詞“更”は、必ずしも比較基準の明示を必要としない。本稿では、まず比較基準が現れない用法の“更”から見ていくことにする。

2.1.1 比較基準が出現しない場合

比較基準 Y が出現しない時、大抵の場合は、比較基準を付け加えることができる。しかし、下記の用例では、比較基準を付け加えることは難しいか、不可能である。

用例(4)

原文：我就不会妒忌你身边的异性，我也不会失去自信心和斗志，我更不会痛苦。 (BCC・爱情文章)

日本語訳：私は、君の周りの異性に嫉妬しません。自信を失ったり落ち込んだりもしません。ましてや苦痛なんかは感じませんよ。

ここでいう“更”は、程度がさらに高いという意味を表わす程度副詞である。もちろん、この文では、“更”は“还”に置き換えられない。また、この文では、同性質のものしか比較できない“X比Y更P”という構文に還元することも難しい。これは、この文が同じ性質を持つもの同士の程度比較ではなく、異なる性質の程度の高さを比較するものだからである。つまり、“不会失去自信心和斗志（自信を失ったり落ち込んだりしない）”の程度は、高いものであるが、“不会痛苦（苦痛なんか感じない）”のほうは、さらに高いものであるという意味を表わす文脈である⁵。この文節は、“不会痛苦（苦痛なんか感じない）”の程度に注目する表現と言えらるだろう。言い換えれば、“更”の核心は、問題の対象の程度に焦点を当て、比較基準 Y と比較して程度が上

であるというところにあると思われる。

用例 (5)

原文：该不该把我们祖国的花朵们送到那里去接受所谓的早教呢？我有点困惑更有些怀疑。 (BCC・《都市快讯》)

日本語訳：国の未来を担う子供達をそこに預けて、いわゆる「早期教育」を受けるべきなのかということに関しては、ちょっと困惑もするが、しかし、疑う気持ちの方がもっと強かった。

ここでは、ある程度“有点困惑（ちょっと困惑する）”であるが、それより“有些怀疑（ちょっと疑う）”の程度がさらに強いという意味を表わしている。つまり、“有点困惑（ちょっと困惑する）”は比較基準 Y で、“有些怀疑（ちょっと疑う）”は比較対象 X なのである。ここでは、“有些怀疑”は、“有点困惑”をもとに程度を強めるものではなく、単に“有点困惑”と“有些怀疑”は、どちらの程度が高いかということ、“有些怀疑”のほうが高いということになっている⁶。つまり、注目点は、“有些怀疑（＝比較対象 X）”に置かれているのである。

用例 (6)

原文：通过教育，使原来为少数人所掌握的科学知识，在较短的时间内为更多的人所掌握，并不断扩大其传播范围。

(CCL・当代\CWAC\AEB0001)

日本語訳：教育を受けることによって、少数の人に握られた科学知識を比較的短期間でより多くの人に習得させ、より一層広めていく。

“比原来更多”という“比 Y 更 P”の構文は、通常は問題なく使えるにもかかわらず、用例 (6) では、比較基準を構文的に付け加え“比 Y 更 P”に変えて使うより、“更 P”のほうが自然である。つまり、前文脈に比較基準が現れたり、もしくは用例 (6) のように現れなくても判断できる場合は、比較基準を省略し、背景化するのが一般的であろう。比較基準が出現しない“(X) 更 P”構文を図で示すと、図 1 のようになる。

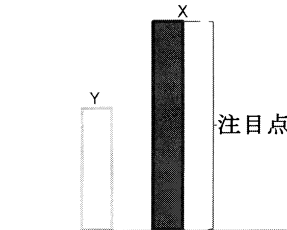


図1. “更”の注目点

2.1.2 比較基準が出現する場合

用例 (7)

原文：叶如意获得了男子佩剑冠军，比他更高兴的是他的父亲叶绍永。

(CCL・《新华社 2003 年 9 月份新闻报道》)

日本語訳：葉如意さんが男子フェンシング大会のチャンピオンになった。彼より嬉しかったのは彼のお父さん葉紹永さんであった。

用例 (7) では、比較基準である“比他”は、省略することができない。前文脈に比較基準が現われていないため、省略されると、何を基準に程度がさらに高いかということ表現できないのである。同様の理由で、下記の用例 (8) (9) においても比較基準の出現が必要である。用例 (8) では、“比现在”を省略すると、「現在よりもっと暖かく湿っぽい」と読み取れるし、「ほかの天体よりもっと暖かく湿っぽい」とも読み取れる。用例 (9) では、“比別人”を省略すると、「今までよりもっと努力しなければならない」と「他のチームよりもっと努力しなければならない」の二通りの意味で解釈できる。したがって、これらの文脈では、意味を限定するために、比較基準の明示が必要とされる。

用例 (8)

原文：这与地球类似，都是生命起源的重要因素。科学家推测，火星曾比现在更温暖潮湿，可能出现过生命。 (CCL・《家有儿女》)

日本語訳：これは地球と同じように、生命誕生の重要な要素だよ。科学研究者の推測では、火星は現在よりもっと暖かく湿っていて、生命が出現した可能性があるんだって。

用例 (9)

原文：我们应该清醒地认识到，我们的足球水平在世界上还不算高，要想在高手如林的世界杯决赛圈中创造好成绩，一定要付出比别人更多的汗水。

(CCL・《新华社2001年10月份新闻报道》)

日本語訳：我々は、自分のサッカーチームのレベルがまだ高くないと自覚しなければならない。名人が雲集するワールドカップで良い成績を獲得するためには、人並み以上の努力が必要である。

用例 (10)

原文：日内瓦大学研究人员日前发表的一份研究报告显示，瓶装饮用水并不比自来水更健康、更安全。

(BCC・《文汇报》)

日本語訳：ジュネーヴ大学の研究員が近頃発表した研究報告書によれば、ボトル入り飲料水は水道水よりもっと健康的で安全なものだというわけではないことが分かった。

用例 (8) は、「火星は、過去と現在でどちらがより暖かく湿っているか」というと、「過去の方がより暖かく湿っているのだ」ということを意図したものであり、用例 (9) も同じように、自分の必要とする努力と他人の努力の度合いを比べ、自分の努力しなければならない程度が高いという表現意図を持っている。

また、用例 (10) では、「健康面・衛生安全面においては、“瓶装饮用水（ボトル入り飲料水）”は、“自来水（水道水）”より優れてはいない」という文脈で、どちらがより優れたものであるかを表現するため、“更”が用いられている。しかし、ここでは“还”は用いることができない。それは、この文が“瓶装饮用水（ボトル入り飲料水）”の程度の高さを測定するために、比較基準の“自来水（水道水）”を取り入れる構造ではないためであろう。

以上述べたように、比較基準 Y が出現する場合も、注目点は比較対象 X に置かれている。比較対象 X と比較基準 Y の程度は、どちらの程度が上であるかということ、比較対象 X のほうが上であるという意味を表わすのであり、表現意図は、比較基準が出現しない場合と同じであることが分かる⁷。比較基準が出現する“X比Y更P”構文を図で示すと、図2のようになる。

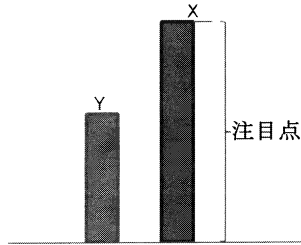


図2. “更”の注目点

2.2 “还”の場合

2.2.1 比較基準が出現する場合

用例 (11)

原文：有时候一天最多有十来家媒体，演出的时候，后台记者比演员还多呢。 (CCL・《鲁豫有约：开心果》)

日本語訳：一日10社余りの報道機関が取材に来た日もある。演劇中、舞台裏にいる記者は、役者よりも多いのよ。

用例 (12)

原文：《时代》周刊是第一本新闻周刊，其创始人卢斯当时刚从耶鲁大学毕业，很年轻，也许比你还年轻。

(CCL・《卓越媒体的成功之道：对话美国顶尖杂志总编》)

日本語訳：タイムズ紙は世界初の週刊ニュース誌です。創刊者のルースは、当時エール大学を卒業したばかりなので若いですよ。多分あなたよりも若いと思います。

構文的には、“X比Y更P”と“X比Y还P”は、互いに置き換えられることが多いが、上記の文脈では、“还”の方が自然であり、“更”を用いると違和感がある。これは、“还”の示す意味と関わっている。用例(11)は、“有时候一天最多有十来家媒体（一日10社の報道機関が取材に来た日もある）”と取材に来た報道機関の数を話題に取り上げ、そして、その多さを説明するために、役者の人数を比較基準に記者が多いことを説明している。用例(12)は、エール大学を卒業して間もなくタイムズ紙を創刊したルースが非常に若く、どれくらい若いかという、多分「あなた」よりも若い、という文脈で

ある。つまり、比較対象の程度はどれぐらいあるか、というところに重きが置かれている⁸。言い換えれば、この表現方法は、比較対象 X の程度を表現するために、比較基準 Y を取り入れ、しかも、これを基準値として比較対象 X の程度を計測しているのであると考えられる。比較基準が出現する“X 比 Y 还 P”構文を図で示すと、図 3 のようになる。

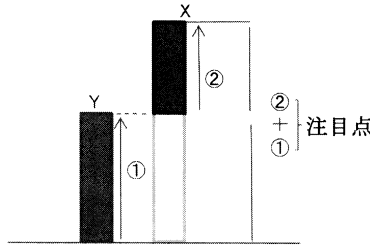


図 3. “还” の注目点

用例 (13)

原文：80 年代初，北方一些居民甚至对新建的公厕不习惯，说“比住房还高级”。

(CCL・《1996 年人民日报》)

日本語訳：80 年代初頭、北方の住民たちは、新設の公衆トイレに慣れず、「住宅よりも高級だな」という人もいた。

用例 (14)

原文：不看不知道，一看吓一跳，原来这些平时说得很上口的名词都是日本人翻译的。看来日本对汉语现代化的贡献比中国人还大。

(CCL・《策马入林：林思云、马悲鸣对话中国近代史》)

日本語訳：普段馴染みのあるこれらの名詞は、全部日本人が訳したものだと全然知らなかったので、びっくりしたんです。そう考えれば、日本人の中国語近代化への貢献は中国人よりも大きいですね。

用例 (13) も、重点は、新しく建てられた公衆トイレと住宅とどちらが高級かを表現するのではなく、「公衆トイレがどれくらい高級であるか」というところに置かれている。ここでは、「住宅」を比較基準にして、公衆トイレの高級感を説明しているわけである。これと同じように、用例 (14) では、中

国語の現代化における日本人の貢献がどれぐらい大きいかを説明するために、中国人の貢献を比較基準として取り入れているのである。

2.2.2 比較基準が出現しない場合

程度に関わる副詞“还”は、比較基準が出現しない場合、程度はそれほど高くないが、比較的良いほうであるという意味を表わし、プラスの意味の語としか共起できない⁹。

用例 (15)

原文：据国家工商局市场司的负责人介绍，这种强买强卖、垄断价格情况在北京为数不多，前两年工商、公安部门狠狠打击过，效果还不错。 (CCL・《1995年人民日报》)

日本語訳：国家工商局市场司の責任者によると、このような悪質セールスや独占価格などは、北京であまり存在しないとのこと。ここ2年間、工商部門と公安部門が厳しく取り締まったため、比較的状况が改善された。

この文は、悪質セールスの件数が減少したとはいえ、完全になくなったわけではないため、期待通りの結果ではないかもしれないが、悪くはなく、期待値からそれほど離れていないということの意味している。ここでの“还”は、「まあまあだ」「なんとか～だ」という程度を表わす¹⁰。

比較基準Yが現れない場合、“还”が表わす程度は、事柄に対する予想値よりは高いという含みがあると考えられる。もし、“还”の程度が、期待値と予想値の両方を下回るのなら、“效果很不理想”“没想到效果会这么差”といった表現になるであろう。

比較基準Yが現れない場合は、Yが現れる場合と同様に、「XとYと、どちらの程度が高いか」という意味合いがなく、「Xはどれぐらいの程度なのか」を説明するために、予想値を取り入れてXの程度を測るのである。即ち、予想値は、程度の計測を行うための参照点（＝比較基準）の役割を果たしていると考えられる。

また、この場合は、下記の用例のように、前後の文脈に「他の何かの事柄は、まったく期待とは逆である」という意味合いの事柄が現われることが数

多くある。

用例 (16)

原文：学校在离家二里地的一座山脚下，这中途全是窄窄的田埂和羊肠坡道，晴天还好，一到雨天，就成了泥泞沼泽。健全的人不小心都会滑倒，更不用说我了。（BCC・《人民日报 1997》）

日本語訳：学校は、家から1キロ離れた山の麓にある。途中には、狭い田んぼ道とつづら折りばかりなので、晴天時はまあまあいいけど、雨天だと、泥道になってしまっていたへんだ。身体の健全な人でさえ、気を付けないと転んでしまうし、ましてや私のような者はなおさらだ。

用例 (17)

原文：划小舟掌握平衡很重要。我看到有一些同学就是因为掌握不好平衡，没划多远就翻到了湖里。我还好，划得较平稳。

（CCL・《从普通女孩到银行家》）

日本語訳：小舟を漕ぐには、バランスの維持が重要である。バランスの維持がうまくできなくて、漕いで間もないうちに湖に落ちた学生がいたが、わたしは、バランスが良く、結構上手にできた。

用例 (18)

原文：到达医院的时候，云翔的情况还好，只有腿上受伤，神志非常清醒。（中略）云飞的情况却非常不好，始终没有醒来过，一路流着血，到达医院，已经奄奄一息。（BCC・《苍天有泪》）

日本語訳：病院に着いた時、雲翔さんはそれほど悪くなく、脚だけ負傷して、意識がはっきりしている。（中略）雲飛さんは状態が非常に悪くて、寝込んだままで起き上がれていないのだ。病院に向かう間中、ずっと血が流れていて、病院に着いた時にはもう息もたえだえだった。

これらの例では、“雨天”“翻到了湖里（湖に落ちた）”“云飞的情况（雲飛さんの状態）”といった望ましくない事柄は、比較基準Yとして存在するものであると考えられる。これらの例は、Xは、期待値までには達していないが、Yというまったく期待と逆の事柄を基準点として考えると、まだまだ

という意味の文である。言い換えれば、期待値よりは高くはないものの、予想値よりは高いという意味を表わすものである。これを図で示すと、図4のようになる。

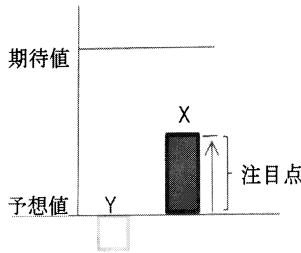


図4. “还”の注目点

2.3 “更”“还”と共起する程度差の表現

程度の差を表わす表現で、“更”と共起するものには、“(一)点”“(一)些”“得多”がある。“还”と共起するものには、“(一)点”“(一)些”“得多”の他、具体的な量の意味を表わす数量詞もある¹¹。

用例 (19)

原文：保护好遗址的原来地貌比治理外部污染更重要得多。

(CCL・《1994年报刊精选》)

日本語訳：名所旧跡の元来の姿を保存することは、その外部の汚染を処理するよりずっと重要である。

用例 (20)

原文：鸵鸟的蛋甚至比柚子还大一些。

(CCL・《读者》)

日本語訳：ダチョウの卵は柚子よりも少し大きい。

“比治理外部污染更重要（その外部の汚染を処理するより重要である）”や“比柚子还大（柚子よりも少し大きい）”だけなら、XとYとの格差が大きいかもしれないし、小さいかもしれない。しかし、程度差の表現“(一)点”“(一)些”“得多”を付けることにより、格差の大小が決まるのである。

しかし、下記の用例から分かるように、XとYとの格差を表わす表現と共起する場合も、“更”と“还”の表現意図は変わらないのである。

用例 (21)

原文：从女性的大脑发育看，女性的大脑皮层比男子的更厚一些，这是人们思维活动的物质基础，它有力地证明，“女人的智力不如男子”的传统观点是不科学的，应当予以摒弃。

(CCL・《女性主义》)

日本語訳：女性の大脳の発育状況から見れば、女性の大脳皮質は男性のものより少し厚い。大脳皮質は人類の思考活動の物質的な基礎であるため、「女性は男性の賢さに及ばぬ」という伝統的な考え方が間違っているということを裏付けており、そのような偏見を退けるべきである。

上記の用例 (21) は、“更”が使われている。男性の大脳皮質との比較によって女性の大脳皮質の厚さの程度を形容するのではなく、「男性と女性のどちらが大脳皮質が厚いか」というと、女性のほうが大脳皮質が若干厚い」ということを表現しようとする文脈である。

用例 (22)

原文：而且送来的蔬菜价格比市价还稍低一些。

(CCL・《市场报 1994 年》)

日本語訳：配達された野菜の価格は、市場価格よりも少し安いぐらいです。

すでに挙げた用例 (20) では、ダチョウの卵はどのくらい大きいか、そしてここで挙げた用例 (22) は、配達された野菜の価格はどれぐらいの程度なのかという文脈である。すなわち、程度の差に注目する場合も“X比Y还P”と同様に、Xの程度はどれぐらいあるかを表現する意図があり、比較対象Xと比較基準Yとの程度の差に焦点を当てることは、比較対象Xの程度を示すためであると考えられる。

また、量的意味の表現との共起問題については、従来の研究では、“还”は、

具体的な量の意味を表わす数量詞と共起するが、“更”は、具体的な量の意味を表わす数量詞と共起しないとする研究が多い。しかし、今回収集した例では、数は少ないが、用例 25～27 のような、“更”と具体的な量の意味を表わす数量詞と共起する用例があった。

用例 (23)

原文：5 日、南京臨時参議院以全票（17 票）选举袁世凱为臨時大总统，
比孙中山还多一票（孙中山以 17 票中的 16 票当选）。

（CCL・《策馬入林：林思云、馬悲鳴對話中國近代史》）

日本語訳：5 日、南京臨時参議院選挙ではすべての票（17 票）が袁世凱に投じられて、大統領に選ばれた。孫文よりも一票多かった（孫文は 17 票中のうちの 16 票で当選したことがある）。

用例 (24)

原文：北大教授林語堂应家乡厦门大学校长林文庆之邀任文科主任，并致函聘请鲁迅为国学研究院“研究教授”，比教授还高一级，月薪 400 银元。（BCC・《文汇报》）

日本語訳：北京大学の林語堂教授は、故郷にある厦門大学の林文慶学長に招かれ、文科主任に着任した。魯迅は書簡で招かれ、国際研究院において教授より一つ上の職位である「研究教授」に着任し、月給は 400 銀元が付与された。

“比”構文に現れる“还”は、“一票”“一级”といった具体的な数字と共起することができる。これは、比較対象 X の程度がどれぐらいなのかを計測する時、参照点（= 比較基準）より具体的にどれぐらいの差があるのかを説明するために有力な手段であると考えられる。

用例 (25)

原文：秀才要通过科试，才能应考更高一级乡试。

（CCL・《中国古代文化史》）

日本語訳：「秀才」は科試に合格してはじめて、さらに一つ上の郷試を受験することができるのである。（秀才とは、明清時代に科挙の最初の試験に合格して府・州・県の学校で学ぶ者を指す。郷試

とは、明清時代、3年に1度省都で実施された科挙の地方試験で、合格者は‘举人’と呼ばれる。）

用例 (26)

原文：1927年夏会师郑州后，国民革命军中顾问嘉伦将军亦随之到郑，屡欲与冯玉祥会面，均未有机缘。一日特请人与冯约商会晤时间。冯指定次日清晨六时。翌晨嘉伦犹拥其恋人女秘书高卧未起，及醒来已误了时间。（中略）冯又指定翌晨五时，比上次更早一个小时。
(CCL・《读者》)

日本語訳：1927年夏、部隊が鄭州で合流した後、国民革命軍の軍事顧問である嘉倫将軍も、部隊とともに鄭州に来た。何回も馮玉祥将軍に面会しようと思っているのだが、なかなか機会がない。ある日、面会の時間を相談するように頼んだ。馮玉祥将軍は翌日の朝6時に指定した。翌日の朝、嘉倫は恋人秘書を抱いて寝たため、予定通りに起きられなかった。（中略）すると、馮玉祥将軍はまた翌朝の5時に指定した。前回より更に1時間早かった。

用例 (27)

原文：不过，从股票市场的反应看，其价格指数不但没有降反而升，昨天上升零点九五个百分点，今天更上升了一点五个百分点。
(CCL・《1993年人民日报》)

日本語訳：ところが、株式市場の動向から見れば、株価指数が下降するどころか、上昇していくのだ。昨日、0.95%上昇したし、今日はさらに1.5%上昇した。

“更”は普通、具体的な数字と共起することはできない。これは、“更”が、「比較対象(X)と比較基準(Y)と、どちらが程度が上なのか」ということに重きが置かれるためである。そのため、一方が他方よりどれぐらいの差があるのかというよりは、多かれ少なかれ、程度に差があるということを重視している。しかし、上記の3例では、“一级”“一个小时(1時間)”“一点五个百分点(1.5%)”は漠然とした意味ではなく、具体的な量的意味を表わす数量詞である¹²。

もちろん、“应考更高一级乡试”は言うが、“应考更高二级乡试”は確かに

言わないのである。しかし、例えば、稀ではあるが、用例(25)は具体的な量的意味と共に起る自然な言い方である。したがって、特殊な条件を踏まえた場合、“更”は具体的な数量詞と共に起ることができるということが分かる。この特殊な条件というのは、「XとYと、どちらの程度が高いか」ということが、聞き手にも何らかの根拠によって推論できる発話情報であるということである。つまり、“更”は、具体的な数量詞と共に起る場合にも、比較対象Xと比較基準Yとどれぐらいの差があるかということに焦点を当ててではなく、どちらの程度が上であるかということに注目するのである。なお、発話情報に関する推論の可能性という点については、次節でさらに述べる。

以上考察したように、“更”は程度高低の比較、“还”は程度スケールの計測というところにそれぞれ重点を置いていることを指摘できる。ここで言う「程度高低の比較」とは、「XとYとどちらが程度が高いか」というと、Xのほうが程度が高い」という意味を指している。また、「程度スケールの計測」とは、程度に差があるXとYが存在し、Xの程度スケールを言い表わすために、Yを参照物として取り入れXの程度スケールを計測するという表現を指している。

3. 発話情報に関する推論上の前提

従来の研究では、比較構文に現れる“更”は客観的な程度を表わすのであり、“还”には予想外のニュアンスが付き纏っており、主観性が強いとされてきた¹³。しかし、すでに挙げた用例(3)の“白米饭は半生就吃了,说它是粥,比粥还硬一点;说它是饭,比饭还粘一点。(米は炊けていなかった。それは、お粥と言うには、すこし濃いし、ご飯と言うには、若干薄い。)”のように、予想外のニュアンスが含まれていない場合もある。炊けていない白米とはいえ、お粥より濃いということは別に不思議ではないし、普通のご飯より薄いのは当たり前であろう。したがって、本稿は少し視点を変えて、“更”と“还”の表現意図と結びつけて下記のようにまとめてみる。

“更”を用いる場合は、「Xの程度がYの上である」ことは、話し手も聞き手も判断できるか、または推論できることでなければならない。“更”は、比較対象Xと比較基準Yのそれぞれの程度を事実として受け入れ、比較対象を念頭に置いて程度を比較し、「この程度なら間違いなく比較基準Yより程度が上である」という、程度の高低を断定する時に用いられる。

“还”を用いる場合は、聞き手にとって X の程度は未知の情報の発話である。つまり、発話時点で X の程度は、話し手にとっては既知のものであるが、聞き手にとっては未知のものか気づいていないものであり、「X の程度が Y の上である」ということは、念頭にないのである。先行研究が指摘している予想外のニュアンスは、“还”自体が持つ意味から生じたものではなく、話し手がなんとか予想できる事柄を比較基準にして比較対象の程度の高さを強調する、いわば“还”の「程度スケールの計測」という機能を果たすための手段の一つであると考えられる。聞き手が X の程度に関する情報を知らないと言話し手は考えて、X の程度の情報を伝達しようとするのである。

具体的に以下の用例を見てみよう。“更”と“还”は、比較構文に現れる時、互いに置き換えられる場合が多いが、次の場合は、置き換えると論理的に不自然になる。

用例 (28)

原文：我想象中只见那位姑娘周身披满树叶的投影，她在我的心目中本身就是一株当地生长的植物，只是在品位上比其它植物更高级，她的结构可以使我更深入地领略到当地的气息。

(CCL・《追忆似水年华》)

日本語訳：体中、木の葉をまとう彼女の姿を私の頭で想像した。私の心の中で彼女は、現地の本の植物であり、ただし、他の植物よりもっと気品高く、彼女を通してならもっと現地の雰囲気を感じ取ることができるのだ。

上記の例 (28) では、構文的には“还”に置き換え可能ではあるが、意味的・論理的には成立しなくなってしまう。これは、人間である“她”の品位の程度が他の植物より高いものであり、それは疑いなく事実であるという文脈である。一般的な認識において、人間としての“她 (彼女)”は、植物より上位であると判断されやすい状況であり、これは聞き手も推論できることであるため、“还”は、ここでは納まりが悪いのである。

用例 (29)

原文：花寡妇的年纪算来已经不小，可是她的躯体看来还是像少女一样，

只不过远比少女更诱人、更成熟。 (CCL・《陆小凤传奇》)

日本語訳：「花未亡人」の年はもう若くないが、体つきはまだ少女のようである。ただ、少女よりもっと魅力的で、もっと成熟している。

上記の用例(29)では、“更诱人(もっと魅力的である)”の“更”は、“还”に置き換えることができるが、“更成熟(もっと成熟している)”の“更”は、“还”に置き換えることはできない。なぜかという、文脈から見れば、“花寡妇(花未亡人)”は、少女より年上である。年長者が年下の者より成熟しているのは当たり前で、聞き手も推論できることであるため、“还”は用いられない。

用例(30)

原文：你在家里可以说是太上皇，上下人等，哪个不听你的指挥？你如果没有自由，那我更没有自由了。 (CCL・《上海的早晨》)

日本語訳：君は、家では絶対権力者のような存在だろう。上から下まであなたの指揮(命令)に従わない者はいないだろう。それでも自由が足りないというなら、僕は(君より)もっと自由が足りないよ。

用例(30)も、“更”を用いる例文である。話し手は、「君」が「僕」よりもっと自由だということを把握した上で、もし「君」が自由でないと言うなら、論理的には当然「僕」の方がもっと自由でないという推論を行ったわけである。この文脈では、比較基準を補っても“还”は使用できない。なぜかという、”还”が用いられると、話し手の自由のなさを知らない聞き手に伝達しようとすることになるので、発話意図にそぐわないためである。

以上は、“更”を用いる用例である。“还”を用いることができるのは、以下のような文脈である。

用例(31)

原文：通常当一只苍蝇被蜘蛛网捕陷时，它的碰撞能就会被拉紧的蜘蛛丝所吸收。蜘蛛丝的强度比钢丝还大，其弹性比橡胶还强。

(CCL・《1995年人民日报》)

日本語訳：通常、ハエなどが蜘蛛の巣にひっかかると、引き切った糸に絡め取られてしまう。蜘蛛の巣の糸の強度は鋼線よりも強く、弾力性はゴムよりも強いのである。

蜘蛛の巣の糸は、強度（硬性）において鋼線には及ばず、弾力性においてゴムに劣るという先入観に対して、実は鋼線よりも強度が高く、ゴムよりも弾力性があるという、聞き手が推測しがたい事柄を述べ、蜘蛛の巣の糸の強さを強調している。つまり、聞き手が比較対象 X の程度についてなかなか推論できない場合に使われる。ここでは、それぞれ比較基準 Y の鋼線とゴムを取り入れ、その強さと弾力性の高さを利用して比較対象 X の程度の高さを強調することができるわけである。

用例 (32)

原文：她的四肢比同伴少一半，可凤枝会得比别人还多，写字读书、画画、穿衣、下地、做家务。 (CCL・《作家的文摘 1995》)

日本語訳：鳳枝さんは、人と違って、両腕がないが、読み書き、絵画、着替え、畑仕事、家事など、できることが人よりも多い。

用例 (33)

原文：记者问一位从藁城来此进书的小伙子：“你们那儿没有批发点吗？”
 “有，就是书不如这儿多。”
 “这儿的批发价也便宜吧？”
 “不，比别处的还稍微贵点”。
他的话让记者不由得有点纳闷：这些外地书贩明知价高，为何还要舍近求远来这儿进书呢？

(CCL・《1994 年报刊精选》)

日本語訳：藁城から本を入荷しに来た青年に記者は聞いた。

「そちら（あなたが暮らしている土地）では、卸売りの拠点はありますか」

「ありますけど、種類はここほど多くないんです。」

「この値段も安いでしょうか。」

「いいえ、よそよりも少し高いですよ。」

この青年の話聞いた記者は頭を傾げた。このよその土地から

来た本屋は、この場所の値段が高いのを知っているのに、なぜ遠くから来て本を入荷するのだろうか。

用例 (32) の、両腕がない人は体が不自由でない人より「できることが多い」ということは、常識では推論できないことである。用例 (33) の、「(この値段が)よそより高い」ということは、聞き手としての記者にとっては論理的に推論できないことである。このような文脈では、“还”を用いることはできるが、“更”は用いることができない。

もっとも、表現意図によって“更”と“还”のいずれも用いることができる場面がある。例えば、次のような例文がこれに当たる。

用例 (34)

原文：在许多家庭中女性是事实上的“户主”，在一些影视文学作品中时髦女性更是咄咄逼人，甚至中、小学生中也出现了某些女生比男生更活跃的现象。这种性别角色的转换是一种社会进步还是文化的畸变？
(BCC・《人民日报》)

日本語訳：家庭の中で、女性が事実上の「主人」であるというケースは少なくない。また、映画・文学作品の中で、お洒落な女性は勝ち気で、中小生でさえ女の子が男の子よりもっと活発だという現象も現れた。このような性別による役割の転換は、社会的進歩なのか文化的異常（畸形）なのだろうか。

用例 (34) は、“更”と“还”のいずれも用いることができる。“更”を用いる場合は、女性と男性の活発さの度合いを把握した上で、間違いなく女性の活発さが男性より上であると結論付けることになる。“还”を用いる場合は、女性の活発さは未知なものであり、それを伝達するために男性の活発さを引き合いに持ち出していることになる。

用例 (35)

原文：美丽的湘西，贫穷的湘西，充满希望的湘西。改变贫穷的希望不会破灭。因为，这里有比山川更美丽的一群人，他们就是这里的农村教师们。
(CCL・《1995年人民日报》)

日本語訳：美しい湘西よ、貧しい湘西よ、希望に満ちた湘西よ。貧しい現実を変える希望は破れまい。ここには山よりもっと美しい人たちがいるのだから。彼らは農村教師なのだ。

同じような理由で、用例 (35) では、“这里有比山川更美丽的一群人”と“这里有比山川还美丽的一群人”のいずれも用いることができるが、“这里有比山川更美丽的一群人”の場合は、「この山と川は綺麗であるが、農村教師と比べると、当然ながら農村教師のほうがさらに綺麗である」という認識が言い表されるのに対し、“这里有比山川还美丽的一群人”の場合は、「この山と川が綺麗なものだから、これより綺麗な人はいないと思うかもしれないが、実は農村教師の彼らはわれわれの想像を超えて山と川の綺麗さを上回っている」という含意を持って表現されるのである。

4. おわりに

本稿では、程度副詞“更”と“还”の相違点を考察するために、その表現意図に着目して分析を行った。“更”は程度高低の比較、“还”は程度スケールの計測にそれぞれ重点を置いていることが指摘できる。

さらに、発話情報に関する推論の前提という観点から、“更”と“还”を分析した。発話情報に関する推論の可能性の有無は「程度高低の比較」と「程度スケールの計測」という発話意図と密接に関わっていると考えられる。“更”には、比較対象 X と比較基準 Y のそれぞれの程度を事実として受け入れ、「この程度なら間違いなく比較基準 Y より程度が上である」という、程度の高低を断定する意味合いがある。これに対して、“还”は、聞き手が X の程度に関する情報を知らないため、話し手は X の程度の情報を伝達しようとする働きを持っている。

注

¹ 小野 (1998: 94) では、特性記述文とは、「文の形としては比較文という二者を比べる形式を用いながら、述べたい中心はあくまでも主語の性質である」文を指す。

² 小野 (1998: 96) は、“更”と“还”が置き換えられない例を挙げ、「比喩を表わす比較文においては、文中の“还”を“更”に換えることはできない」とし、「最上級を表わす文では、“更”を“还”に置き換えることはできない」と指摘している。

用例 (a) 比喩を表わす文の場合

○这些讨债的人比黄世仁还凶。(これらの借金取りたちは、黄世仁よりもまだ凶悪だ。)

*这些讨债的人比黄世仁更凶。

用例 (b) 最上級を表わす文の場合

○他觉得世界上再没有比家更可爱的了。(彼は世界中で家より愛すべきところは無いと思った。)

*他觉得世界上再没有比家还可爱的了

³ また、前田 (2010) は、“更”に「認識の変更」という機能があると指摘しているが、これについてはさらに検討する余地があると思われる。

⁴ “还”の意外性に関して、宗 (2011) や謝 (2012) などは、話し手の意外性なのか聞き手の意外性なのかははっきりされていない。それに対して、胡・车 (2010) は、“跟听话人的预期相反 (聞き手の予想に反する場合)” “跟说话者自己的预期相反 (話し手の予想に反する場合)” “与特定言语社会共享的预期相反 (一般常識に反する場合)” という三つの面から捉えている。

⁵ 時 (1999: 10-11) も“更”は同質の比較にも異質の比較にも用いられると指摘しているが、氏の「異質の比較」とは、“越往后, 这类电视剧不是会减少, 倒是会更多 (今後このようなドラマは減るのではなくて、ますます増える一方だ)”のように、対立した事柄を捉え、反対比較を示すものである。即ち、対立した方向性を前提とする比較を指すものである。本稿で言う「異なる性質の比較」とは、対立した方向性を前提とする比較ではなく、異なる性質 (例えば、“不会失去自信心和斗志 (自信を失ったり落ち込んだりする)”と“不会痛苦 (苦痛を感じる)”) の程度の比較を指す。

⁶ しかし、同じ構造を持つ“P 还 P”の場合は、どんな意味を表わすのだろうか。下記の例文を見てみよう。

原文: M 见她进来有些不好意思还有些慌乱: “别见怪! 算算咱俩命中的联系!”

(BCC・《透明的性感》)

日本語訳: ちょっと照れくさくて落ち着かない彼女を見て、「気にしないでね。僕たちの運命的な繋がりを占ってみよう」と言った。

上記の例文は、彼女が“有些不好意思 (ちょっと照れくさい)”だけではなく、“有些慌乱 (ちょっと落ち着かない)”という気持ちも感じられ、全体的な感情はそれらの気持ちから構成されるものである。これは、程度副詞的な用法ではないが、程度の比較に用いられる時も、これと近接性を持ち、全体の程度の表示は個々の程度の累加から生まれるものであるということを示唆する。一言で言えば、程度の比較に関わる“还”の核心は、程度の累加というところにある。“P 还 P”の例として、“好吃还好看 (美味しくて見栄えもいい)” “不但好吃, 还便于携带 (美味しくて、しかも持ち歩くのが便利だ)”などが挙げられる。

⁷ 沈 (2003) は、“A 比 B 更 W”という比較構文は、“突现的是 A 在性质 W 上的程度之高 (W という性質における A の程度の高さを強調する)”と述べている。さらに、比較構文“A 比 B 还 W”は、“突现的是语境中说话人主观设定的先期望值 (話し手の経験に基づいた期待値を強調する)”と指摘している。しかし、本稿は、“更”が「比

較基準 Y と比較し X の程度のほうが上である」ことを強調するという点で、沈 (2003) と異なる。

⁸ 前田 (2011:121) でも、“X 比 Y 更 P” と異なり、“X 比 Y 还 P” 構文の表現意図は「X の程度の高さを述べることに主眼が置かれている」と指摘している。

⁹ 大島 (2000) なども指摘しているように、この場合は、“还 + ~” の形で言い切れるのは“还好 / 还可以 / 还不错 / 还成 / 还行”だけで、それ以外は“还算聪明”のように“还算”の形で用いられる。

¹⁰ 大島 (2000:110) は、この場合の“还”を日本語の「まあまあだ」「なんとか～だ」の意味を表わすとする。

¹¹ 従来の研究において、“还”は、具体的な量の意味を表わす数量詞と共起するが、“更”は、具体的な量の意味を表わす数量詞と共起しないとされてきた。しかし、今回収集した例では、数は少ないが、“更高一级”のような表現があった。

¹² 時 (1999) と前田 (2011) も具体的な量を示す語句と共起する“更”に触れている。例えば、時 (1999:13) は、次の用例を挙げて『『十倍』は、明確な量を表わす語句だと思われやすいが、この場合は抽象的な表現に用いられ、曖昧性が著しく、具体的な数字として使われたというわけではないから、『更』と共起する』と述べている。

用例：

这种男女之间的胡闹，他认为简直是当面进行的最严重的侮辱，比刚才在夜市场受到的侮辱更甚十倍。(この種の男と女の悪戯は、目の前で受けさせられた最も酷い侮蔑であり、先ほど夜間市場で受けたよりも更に十倍ぐらい酷かったと彼女が思った。) (梁晓声《雪城》上册 P110 北京出版社・北京十月文艺出版社 1996.10.)

¹³ 马伟忠 2014 は、「“S 比 N 更 A” 句式更倾向于表示客观量，表示比较的“S 比 N 还 A” 句式倾向表现主观量 (“S 比 N 更 A” 構文は、客観的な量を表わすことに傾くのに対して、比較を表わす“S 比 N 还 A” は主観的な量を表わすのに傾く)」と述べ、両構文の相違を主張する。

参考文献

- 大島潤子 (2000) 「副詞“还”についての一考察」『お茶の水女子大学中国学会会報』(19), pp.1-14
- 小野秀樹 (1998) 「中国語の比較文—“比字句”の意味と構造をめぐって」『中国語学』(245), pp.92-101,
- 時 衛国 (1999) 「中国語と日本語における程度副詞の対照研究—『更』『还』と〈もつと〉〈さらに〉」『コミュニケーション科学』(10), pp.3-26
- 謝 平 (2012) 「程度副詞“更”と“还”について」『名古屋外国語大学外国語学部紀要』(43), pp.225-240
- 前田真砂美 (2007) 「副詞“还”の認知的意味分析」『中国語学』(254), pp.241-262
- _____ (2010) 「副詞“更”の意味—(さらに)の含意をめぐって」『中国語学』(257),

pp.127-146

- _____ (2011) 「“比较句”における“还”と“更”—「差」と「たとえ」の表現」『東京大学中国語中国文学研究室紀要』(14), pp.118-134
- 胡斌彬・车录彬 (2010) “X 比 Y 还 W” 构式的语用信息功能. 《湖北师范学院学报》(哲学社会科学版) 2010 年第 6 期, pp.37-39
- 黄祥年 (1984) 比较句中的“更”和“还”. 《语言教学与研究》1984 年 01 期, pp.26-32
- 刘月华・潘文娉・故鞞 (2001) 《实用现代汉语语法 (增订本)》, 商务印书馆
- 陆俭明 (1980) “还”和“更”. 《语言学论丛》第 6 辑, 商务印书馆, pp.191-209
- 吕叔湘主编 (1999) 《现代汉语八百词 (增订本)》, 商务印书馆
- 马伟忠 (2014) 试析“比 N 还 N”及相关句式的句法、语义特点. 《语言教学与研究》2014 年第 6 期, pp.65-73
- 沈红丹 (2003) 含有“还”的比字句的语用分析. 《杭州师范学院学报》(自然科学版) 2003 年第 6 期, pp.27-29
- 沈家煊 (2001) 跟副词“还”有关的两个句式. 《中国语文》总第 285 期, pp.483-493
- 文全民 (2008) “更”和“还”在肯定与否定比较句中的差异. 《世界汉语教学》总第 83 期, pp.58-67
- 宗守云 (2011) “X 比 Y 还 W”的构式意义及其与“X 比 Y 更 W”的差异. 《华文教育与研究》总第 44 期, pp.79-85

謝辞

本研究は中国国家建設高水平大学公派研究生項目の助成を受けたものです。本稿では、CCL 语料庫と BCC 現代漢語语料庫を利用させていただきました。ここに記して、感謝の意を表します。また、本稿執筆に際し、貴重なご助言をくださった方々に心より感謝申し上げます。